

日本美術の祭典

クリーブランド美術館展 一名画でたどる日本の美

- 会期：2014年1月15日(水)～2月23日(日) ●会場：東京国立博物館 平成館 特別展示室第1・2室
- 開館時間：午前9時30分～午後5時 ＊入館は閉館の30分前まで ●休館日：月曜日
- 主催：東京国立博物館、クリーブランド美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
- 協賛：住友ナコ マテリアルハンドリング、日本写真印刷、ハイスター=エール・マテリアル・ハンドリング
- 協力：全日本空輸、日本貨物航空

日本伝統工芸展60回記念 人間国宝展 一生み出された美、伝えゆくわぞー

- 会期：2014年1月15日(水)～2月23日(日)
- 会場：東京国立博物館 平成館 特別展示室第3・4室
- 開館時間：午前9時30分～午後5時 ＊入館は閉館の30分前まで ●休館日：月曜日
- 主催：東京国立博物館、文化庁、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社、日本工芸会
- 協賛：花王、日本写真印刷

日本美術院再興100年 特別展 世紀の日本画

- 会期：〔前期〕2014年1月25日(土)～2月25日(火) 〔後期〕2014年3月1日(土)～4月1日(火)
- 会場：東京都美術館 企画展示室
- 開室時間：午前9時30分～午後5時30分、金曜のみ午後8時まで ＊入室は閉室の30分前まで
- 休室日：月曜日(ただし2/24、3/31は開室)、2/26～28
- 主催：東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本美術院、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
- 協賛：日本写真印刷、三井住友海上、三井物産

中学生以下は観覧無料です。

お問い合わせ 03-5777-8600(ハローダイヤル) 公式ホームページ <http://www.nichibisai.jp>



日曜美術館

Eテレ 毎週日曜日 午前9時～午前10時
(再) 翌週日曜日 午後8時～午後9時
※アートシーンのみ朝の放送と同一



東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

〒110-8712
東京都台東区上野公園13-9
●JR上野駅公園口、鶯谷駅南口より徒歩10分 ●東京メトロ銀座線・日比谷線
上野駅、東京メトロ千代田線根津駅、京成電
鉄京成上野駅より徒歩15分

東京都美術館
TOKYO MUSEUM OF ART

〒110-0007
東京都台東区上野公園8-36
●JR上野駅公園口より徒歩7分 ●東京
メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口
より徒歩10分 ●京成電鉄京成上野駅
より徒歩10分

執筆：東京国立博物館 川岸瀧里、
東京都美術館 稲庭彰和子
デザイン：株式会社アーツ
制作：東京国立博物館、東京都美術館、
NHK、NHKプロモーション

このジュニアガイドは「クリーブランド美術館展」、「人間国宝展」、特別展「世紀の日本画」の鑑賞の手引きとして小学校高学年から中学生を対象に作成しました。

(表紙 左上) 深江蘆舟「高の細道図」江戸時代・18世紀 アメリカ・クリーブランド美術館蔵 Photography © The Cleveland Museum of Art (表紙 中上) 稲垣次郎「木村地型絵巻 野草松田田根津巻物」昭和30年(1955) 京都国立近代美術館蔵 (表紙 右上) 小倉道亀「佳」昭和41年(1966) 東京芸術大学蔵 (表紙 左下) 「二河白蓮図」鎌倉時代・13～14世紀 アメリカ・クリーブランド美術館蔵 Photography © The Cleveland Museum of Art (表紙 中下) 今村紫紅「熱国巻(二巻の内、熱国之夕)」大正3年(1914) 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives (表紙 右下) 堀田八十吉(三代)「藤影巻 恒河」平成15年(2003) 小松市立博物館蔵

発見!

日本の たからもの



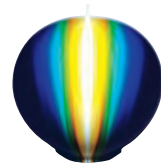
日本に伝わるたからもの。

日本でつくられたたからもの。

たからもののありかは上野の山の3つの展覧会。

もっとよくみてみよう。もっとさがしてみよう。

きっとおもしろい何かを発見できるはず。



日本美術の祭典へ ようこそ



帯止金具「蛙」 鴨下春明
昭和63年(1988) 東京国立博物館蔵

飛鳥の春の額田王 安田敏彦
昭和39年(1964) 滋賀県立近代美術館蔵



「日本美術といえば……？」

こうたずねられたら、
みなさんは何を思い浮かべるでしょうか。
その答えを探せるのが、
2014年、東京国立博物館と東京都美術館が
コラボレートして開催する
「日本美術の祭典」。

3つの展覧会をめぐれば、
日本で作りだされた
いろいろな美を
みつけることができる、
特別な企画です。



雷神図屏風、「伊年」印 江戸時代・17世紀 アメリカ・クリーブランド美術館蔵
Photography © The Cleveland Museum of Art

展示室でのマナー

- メモを取るときはエンピツで。
- 展示室では走らない。
- 話すときは静かな声で。
- 作品にさわらない。

さあ、発見のたびへ出かけよう！

とうきょうこくりつはくぶつかん
東京国立博物館

クリーブランド美術館展

P.4~7

一名画でたどる日本の美

日本でつくられたたからものが海を越え、外国で大切にされていることもあ
るんだって。ここにあるのはアメリカの美術館で大切にされている、日本生
まれのたからもの。
会期：1月15日(水)~2月23日(日)

とうきょうこくりつはくぶつかん
東京国立博物館

日本伝統工芸展60回記念 人間国宝展

P.8~11

一生み出された美、伝えゆくわざー

むかしながらの材料と技に今の材料、技、センスをたして、食器や着るもの
など毎日のくらしに必要なものをつくったら、うつくしいたからものになり
ました。
会期：1月15日(水)~2月23日(日)

とうきょうと びじゅつかん
東京都美術館

日本美術院再興100年

P.12~15

特別展 世紀の日本画

むかしから伝わるたからものを大切にしながら、新しいたからものをつくりたい。
そんな夢に向かって歩きだした芸術家たちがいました。
会期：[前期]1月25日(土)~2月25日(火) [後期]3月1日(土)~4月1日(火)

注意

それぞれのたからものがみられる期間(会期)は決まっています。
その期間をすぎたらみられないので気をつけよう！

極楽浄土に 行く方法？

この絵の上半分は阿弥陀さまのいる、幸せに満ちた極楽浄土。

下半分が私たちの生きている世の中・娑婆です。

どうしたら娑婆から極楽浄土に行けるのでしょうか？



あみだ
阿弥陀さまのいる
ごくらくじょうど
極楽浄土

いま私たちが
生きている世の中
しゃば
娑婆

二河白道図 鎌倉時代 複製
Photography © The Cleveland Museum of Art

どんな場面なんだろう？

ごくらくじょうど しゃば あいだ みず かわ ひ かわ なが
極楽浄土と娑婆の間には水の河と火の河が流れています。その河を越え、娑婆から浄土に行
くたつたひとつの道がこの細く白い道。いままさに、お坊さんが浄土に向かっています。
かわ お きの む あみだ むか
河に落ちないように気をつけて！ 向こうには阿弥陀さまがお迎えにきてくれています。
すこ ごくらくじょうど がんぼ ぼう
もう少しで極楽浄土です！ 頑張れ、お坊さん！

水の河・火の河！？

しゃば ごくらくじょうど あいだ
娑婆と極楽浄土の間には、ふ
たつの河が流れています。水
の河は欲を、火の河は怒りや
憎しみを象徴してるんだって。

同一人物！？

ふたり ぼう おな ひと しゃば
二人のお坊さんは同じ人。娑婆
あくにん おそ どうぶつ むし
で悪人、恐ろしい動物、虫に追
いかけられるお坊さんが極楽
じょうど む ある
浄土に向けて歩きはじめました。

幅15センチ！？

しゃば ごくらくじょうど むす しろ みち
娑婆と極楽浄土を結ぶ白い道
は、きよらかな心の象徴。その
みち しゃば こと しょうじょう
道の幅は15センチほど。無事
かわ わた
に河を渡れるでしょうか。

たし い しょ なか しゃば ごくらくじょうど い
私たちが生きている世の中・娑婆から極楽浄土に行く
ためには、欲望、怒りや憎しみの心などを振り切って、
あみだ しん こと びつよう
ひたすら阿弥陀さまを信じるきよらかな心が必要であ
ることを、水の河、火の河、白い道に例えて教えてくれ
る絵なのですね。

探してみよう、 不思議な ところ

鳶の細道図屏風 深江蘆舟 江戸時代 18世紀
 アメリカ・クリーブランド美術館蔵
 Photography © The Cleveland Museum of Art



深江蘆舟が描いたのは見たま
 まの風景ではありません。金色
 の地面なんて現実の世界では
 見たことがないですね。絵だ
 からこそ不思議を楽しんでみ
 ましょう。

鳶の葉が
 赤い？

5月の場面なので、鳶
 の葉は緑色のはず。でも
 紅葉して描かれています。



この木、
 何の木？

きのこのような
 木は松の木。他の
 植物も、不思議な生え方で
 描かれています。



山なのに、小さくて、
 木や緑も少なく、
 岩のように見えま
 す。不思議…。

この川は、どこからど
 こに流れていくので
 しょう。不思議…。

くら
 比べてみよう

深江蘆舟が描いたもうひ
 とつの鳶の細道図屏風が、
 東京国立博物館の本館2
 階8室に展示されます。

(1月15日～2月23日)



あふれだす光 飛びだすパワー

きれいな色の大きな丸い壺です。作者の
徳田さんがどんなイメージでこの壺を
作ったのか、想像してみましょう。
何もない空間に、紺色の球が浮か
んでいます。「中には何が…?」。
不思議だったので、そのまんな
かをナイフで縦に切り裂いたら、
中から白い、まぶしい光があふ
れだしました。紺色の球はあふ
れる光によって黄色・緑・青に
輝きました。
その一瞬を表したのがこの壺。
この後、どうなるんだろう？
続きを想像してみましょう。

とくだ や そまち さんだい
徳田八十吉(三代) (1933~2009)

平成9年(1997)には、さまざまな色釉を使って鮮やか
なグラデーションを生む「彩釉磁器」の技術によって、重
要無形文化財の保持者(人間国宝)に認定されました。

と 飛びだすパワーを目撃! もくげき

まんなかをスツと切り裂く白い線を上に向かってたどって行くと、つ
ぺんに白い小さな口がついています。光とともにあふれだした
パワーが、紺色の球から空に向かってはじけ出していく
ようです。

あふれだす光の表現 ひかり ひょうげん

光の白から、球の紺色まで少しずつ色
が変わっていきます。このような表現をグラ
デーションといいます。徳田八十吉(三代)さんの
得意技です。あふれだす光の表現にびったりです。

耀彩壺「恒河」
徳田八十吉(三代)
平成15年(2003)
小松市立博物館蔵

型紙でつくる 型にはまらない デザイン

もようを切り抜いて作った型紙。
稲垣稔次郎さんは今までにない
型紙の使い方で、この着物を作り
ました。型紙の新しい使い方から
生まれたデザインともようがこ
の着物の魅力です。

着物全体がまるで一枚の絵の
ように見えます。

でも、もちろんどのもようも型紙
で表された全く違うもようです。

細かな型紙を使って染める

もっと近づいてよく見ると、白いドーナツのよ
うな匹田文がたくさん並んでいます。細かな
丸もようを切り抜いた型紙を使い、赤・黄・
青・紫などさまざまな色で染めています。

金で表す

月の様な金色のまるの中に表されているの
は、梅と竹のもよう。型紙を使って糊、金箔
を布に貼ってもようを表しています。

絵画のように染める

誰でも見たことのある身近な植物の型紙を作り、
刷毛で染めています。絵のような自然な配置、き
りっとした線、色をぼかした表現が型絵染の独特
な風合。どこまでがひとつの型紙なのでしょう？



稲垣稔次郎 (1902~1963)

昭和37年(1962)、型紙を使って着物に絵模様を表す「型絵染」
により重要無形文化財の保持者(人間国宝)に認定されました。

木綿地型絵染 野草笹匹田模様着物
稲垣稔次郎 昭和30年(1955)
京都国立近代美術館蔵

色と形の リズムが 心地よい？

お母さんと女の子と茶色い子犬。前から大・中・小と並んで歩いています。毎日一緒に歩いているのかな？ お母さんの白い傘に続く、女の子の黄色い傘。そして、お母さんの薄い黄色のワンピースの裾は三角形に後ろにのびていて、それに続く女の子の白いスカートも三角形。どちらも色や形がくり返されることでリズムができ、その後ろを犬がクンクンと安心した様子でついて行きます。リズムカルな形と色のつながりから、二人と一匹の、温かな通い合う気持ちが伝わってくるようです。

ほかにも色や形のリズムが見つかるな？



径 小倉遊亀 昭和41年(1966) 東京藝術大学蔵

※この作品は展覧会前期に展示されます(1月25日～2月25日)

どんな思いで描いたんだろう？

この絵を描いた小倉遊亀は日本を代表する画家で、なんと105才まで作品をつくり続けていました。これは71才の時の絵。ある詩を読んで感動し「明るく、暖かく、楽しい、生きることの喜びを感じ合う、そんな思いに満ちた世界」を描きたかったそうです。前へ前へと歩く二人と一匹の姿を描きながら、小倉さんは自分の人生の歩き方に思いを巡らしていたのでしょうか。

知らない国へ 冒険に出してみる？

自分の知らない遠い国へ出かけるとしたら、君はどこへ行く？
この絵を描いた今村紫紅という画家は、新しい「自分にしか描けない絵」を描こうと、インドを目指して思いきって旅に出ました。
日常を飛び出して、見たこともない風景や人々に出会うことで、これまでの常識を打ち破る絵が描けるかも、と思ったのかもしれませんが。そして、完成させたのがこの絵です。



遠くまで広がる黄色い大地。こんもりとした木々の中を進むと、オレンジ色の屋根が見え、広場では人々が仕事をしたり話をしたりしています。



ゾウや犬も仲良く暮らしているのかな？ 風景は横へ横へと広がり、金色の光に包まれた風景はどこまでもつながっていて、時間を越えた世界のような雰囲気が漂っています。



さくひん てんらんかいこう き てんじ がつついたち がつついたち
※この作品は展覧会後期に展示されます(3月1日～4月1日)

重要文化財「熱国之巻(二巻の内、熱国之夕)」(部分) 今村紫紅 大正3年(1914) 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives